



# 薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No.18

令和5年10月 6日

文責：校長 齋藤和彦

## 修学旅行・宿泊学習・体験学習 に魅た..「薫の子のよさ」



9月..各学年の見学・体験学習、宿泊学習、修学旅行を予定通り実施しました。

今日は、1～3年生の下学年遠足（縦割り班の学校周辺フィールドワーク）でした。

これらの行事に引率同行して、まず感じたことは、「薫の子のよさ」この一言に尽きます。

何がよいのか？..それは、子ども達の関係性が穏やかで..関わりのやさしさが至る所に見て取れるのです。～男女の分け隔てなく協力し合い..注意や指摘の言葉さえも、相手の立場や性格を加味した「やさしさ」「思いやり」が感じられるのです。（抜群のユーモアも！）

ただでさえ楽しい大行事が、何倍もの思い出となって、やっぱり「友だちって、いいな」をたっぷりと味わったことでしょう。

これには、学年や担任の先生方の綿密な計画と子ども達を知りつくした準備あつてのものであること..もお伝えさせていただきます。



## 特設合奏部

### 「魔女の宅急便メドレー」

新入部員が半数..で始まった今年度の特設合奏部。初めて触れる楽器..持ち方も、手入れの仕方も、音の出し方もどれも初めて。。

約半年間の練習を経て..薫小「♪魔女の宅急便メドレー」を市合奏祭会場の大ホールに響かせました。すごいことです。

よくがんばったと思います。

夏休みも猛暑酷暑の中の練習を重ねるごとに日一日と魔女の宅急便メロディーに聞こえてくる..日々の過程。



特設部の子供達には、この日々..この過程が大切であり、尊い経験なのだと思います。

特設合唱部・特設合奏部の大会前に全校集会で行われる「励ます会」。ここで全校児童が聞かせてもらえる、努力の結晶でもある合唱・合奏の演奏披露。（これを聞ける学校は多くはありません）薫の子は幸せだと思います。

特設合奏部さんの吹奏楽伴奏で♪校歌..特設合唱部さんのリードで♪校歌..1年生への入学式プレゼント曲！なんて..演出もすてきななあ～などなど..夢も広がります。



## ◆◇ 校長室より ◇◇

（※ 二十数年も前のできごとです）

～ このような親子のかかわりもあるんだなあ ～

### ある学校での..忘れられない「お母さんの姿...」

「先生..どうしてマラソン大会やるの？」～マラソン大会まで2週間..ある女の子（2年生）のことばでした。この女の子は、運動が苦手なわけではない子でした。体育のマラソン練習も学級女子16人中、常に4～5番。

「いやだなあ..」授業中の表情もうつむきかげんに..。友だちに聞いても「??」。本人と話しても「...」マラソン大会3日前。絵の仕上げで数人の仲良しが居残りしていた教室の話題は、「家の人が応援に来てくれるんだ」「6位入賞だと、たまごっち何とかバージョン買ってもらえるんだあ！」～楽しそうな雰囲気でした。

その子の家は共働きで、なかなか授業参観出席もむずかしい家庭でした。2年生だということにお弁当を自分で用意してきたこともありました。（でも、〇さんのことを想う姿は学級通信の返信から十分に伝わるお母さんでした）

私が電話で〇さんの様子を伝えと、お母さんは、すぐに理由を察してくれました。（さすがです。）

「マラソン大会だから見に来て..友だちみたいに応援してほしい..」～「ごめんね。仕事の都合で遠くに...」

...大会当日朝、〇さんは、「おはようございます！」元気に..以前の明るい顔で教室に入ってきました。

「先生にだけだよ。みんなには言わないで。」と、靴下を脱いで見せてくれました。

『フレ！フレ！〇ちゃん がんばってね。お母さん』小さな足の裏にマジックで書いてありました。

〇さんは懸命の走りで、ゴールに帰ってきました。学年女子30人あまりの中で、確か...5位でした。

ご褒美をねだる〇さんでも、物で褒めるお母さんでもありません。この日、夜遅くに仕事から帰ってきたお母さんと〇さんとのすてきな様子を想像しました。私の忘れられない保護者「お母さんの姿」です。